

大会名 Competition	第31回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-108	Year Month Day Time 2018 年 5 月 4 日 13 : 30
場所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
<http://ncup.snowland.net>

<https://ncup.snowland.net/2018/>
<https://ncup.snowland.net/2018/>
<https://ncup.snowland.net/2018/>



チームA		チームB	
中部大第一		明成	
90	○	58	●
24 1st 10			
26 2nd 18			
24 3rd 11			
16 4th 19			
E P			

主審: Crew chief
小野寺 浩 秋田
副審: Umpire
水木順仁 秋田
田中直幸 秋田
テーブル・オフィシャルズ: Table officials
能代工業

No.	Pl-in	選手氏名 Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	Pl-in	選手氏名 Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	中村 拓人 CAP	21	1	6	6	3	4	／	古川 空音 CAP	0	0	0	0	0
5	×	青木 遥平	20	4	3	2	1	5	×	川村 亮汰	9	0	4	1	1
6	×	矢澤 樹	6	0	3	0	0	6	×	越田 大翔	5	0	2	1	5
7	／	小澤 幸平	2	0	0	2	0	7	×	木村 拓郎	11	0	5	1	1
8	×	Boubacar N'diaye	13	0	5	3	3	8	／	山内 シャリフ和哉	2	0	1	0	5
9	／	佐藤 優光	0	0	0	0	0	9	井上 耀	-	-	-	-	0	
10	／	井戸 光邦	2	0	0	2	1	10	×	田中 裕也	4	0	2	0	5
11	／	仲宗根 弘	2	0	1	0	1	11	／	浅原 紳介	5	1	1	0	0
12	×	深田 恵音	10	0	3	4	0	12	／	清水 晃	0	0	0	0	0
13	／	加藤 康太郎	0	0	0	0	0	13	／	喜多 陸登	0	0	0	0	0
14	／	小川 流空	2	0	1	0	1	14	／	一戸 啓吾	14	2	4	0	2
15	／	Batoumani Coulibaly	11	0	5	1	1	15	／	菱倉 崇人	2	0	1	0	0
16	／	吉本 大心	1	0	0	1	0	16	小川 祥英	-	-	-	-	0	
17	中元 優治郎	-	-	-	-	0		17	×	加藤 陸	5	1	1	0	4
18	／	葉山 隆誠	0	0	0	0	0	18	／	河合 海輝	1	0	0	1	1
コーチ	常田 健		0					コーチ	佐藤 久夫					0	
Aコーチ	西村 彩		0					Aコーチ	高橋 陽介					0	
合 計			90	5	27	21	11	合 計			58	4	21	4	24

※×:スタート ／:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P弾 イントショット 2P:2P弾 イントショット FT:フリースロー F:ファoul

Score ranking [Team]

1	21	23.33%	中村 拓人
2	20	22.22%	青木 遥平
3	13	14.44%	Boubacar N'diaye

1	14	24.14%	一戸 啓吾
2	11	18.97%	木村 拓郎
3	9	15.52%	川村 亮汰

Score ranking [Game]

1	21	中村 拓人	中部大第一	2	20	青木 遥平	中部大第一	3	14	一戸 啓吾	明成
---	----	-------	-------	---	----	-------	-------	---	----	-------	----

2連勝中の中部大一と、1勝1敗の明成との対戦。

1Q、中部大一、明成ともにハーフマンツーマンでのスタート。中部大一は#8 Boubacarのリバウンドも強力だが、#4中村などの激しいディフェンスで明成のターンオーバーを誘い、速攻のドライブやフリースローで次々と得点を重ねる。一方の明成も#10田中のスタイルなどで食らいつく。24-10で終了。

2Q、中部大一、明成とも引き続きハーフマンツーマン。明成は、序盤のオフェンスに落ち着きを取り戻す。しかし中部大一の激しいディフェンスからの速攻は勢いを維持し、戻りが早くなつた明成のディフェンスに対しドライブ以外のショートも決まるようになる。中盤は明成の#7木村のドライブなどが決まり、互角の勝負となる。しかし明成に流れを渡すまいと、中部大一は必死のディフェンスで対抗する。50-28で前半を終了。

3Q、序盤、明成#5川村、#10田中のドライブが決まり反撃を開始するが、中部大一は高い位置からディフェンスを仕掛け、オフェンスでは#4中村、#5青木がアウトサイドショートを決めて、明成に流れを渡さない。中盤は両チームともファoulが増え、残り5分で早くも両チームともチームファoulが4つとなる。その後、両チームとも隨時メンバーを入れ替え、出場した選手もアグレッシブに戦い続ける。74-39で終了。

4Q、中部大一、明成ともに、控え選手中心の布陣のハーフマンツーマンでスタート。序盤、明成は中部大一の激しいディフェンスでタフショットを強いられる。明成も中部大一に負けない激しいディフェンスで、中部大一のオフェンスを食い止める。終盤にかけて、交代により多くの選手が登場し、それぞれの選手がハードなディフェンスや強いリバウンドを意識してプレーしていた。90-58で終了。結果として大差がついたが、とても見応えのある試合であった。